

2025年 1月

杵築市立図書館

# 図書館だより



本館 Tel : 0978-62-4362 山香図書室 Tel : 0977-75-1055 大田図書室 Tel : 0978-52-3111

## 新年あけましておめでとうございます

～新しい図書館に乞うご期待～

2025年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。昨年は多くの方に図書館をご利用いただき、心より感謝しております。

今年、杵築市立図書館は開館して7年目を迎えます。年度始めの4月には、図書館システムがバージョンアップして、皆様にご利用できる便利な機能が増える予定です。利用者の方からのご要望にお応えし、検索性パソコンでキーボードが付加され、インターネット用パソコンでは国立国会図書館の資料も閲覧できるようになります。お探し本が見つかりやすくなるよう、書架の大幅な入れ替え等も計画しています。これからも、皆様にとってより一層使いやすい図書館を目指して変わっていきたいと思います。

コンピューターのバージョンアップや図書館の進化に合わせて、私たちも皆様に寄り添えるカウンターサービスとリラックスできる空間作りに努めてまいります。引き続き、『シン・ゴーリュース塾』をはじめとした様々なイベントもお楽しみください。

今年も皆様のご来館を心よりお待ちしております。杵築市立図書館をどうぞよろしくお願い致します。

## 少し長いお休みを…

図書館システムのバージョンアップ、本の引っ越し、そして蔵書点検のため、長いお休みをいただきます。皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、新しい図書館を楽しみにお待ちしております。うれしいです。



## 『おでかけクラシックコンサート in 杵築市立図書館』



### ニューイヤーコンサートへのご招待

年の初めに心躍るひとときをお届け！  
図書館で本格的なクラシック音楽の世界をお楽しみください。

日時:2025年1月18日(土) 14時～15時

場所:本館 エントランス

出演者:アミティエ(フルート&ギターのデュオ/iichiko 総合文化センターアウトリーチ登録アーティスト)

主催:杵築市立図書館

iichiko 総合文化センター

[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]

=生涯を通じた障がい者の学び支援事業=  
杵築市立図書館 2025 ミニミニオリンピック

### 4種のゲームで、狙え金メダル！

どなたでも楽しめるオリンピック。  
参加する人に合わせてルールを変えて、みんなで楽しみましょう！

景品・  
参加賞あり

日時:2025年1月24日(金) 13時30分～14時30分

場所:本館 多目的室

対象:大人(障がいがある人もない人もどなたでも)

定員:24名

申込:1月4日(土)～23日(木)

本館カウンターまたは電話で受け付けます。

内容・じゃんけんパタンコ ・ボーリング  
・カーリング ・バグゴ

## 《シン・ゴーリユース No.3》

### 大分を誇りに 杵築を誇りに 麻田剛立の功績を知る

11月30日(土)に名古屋学院大学国際文化学部 教授 鹿毛敏夫先生による講演会「麻田剛立の歴史的意義とその魅力」が開催されました。

杵築の偉人 麻田剛立の功績について、天文学の知識を交えながら丁寧に説明していただきました。剛立が使った観測器具の説明や、西洋天文学を取り入れた時期なども教えていただき、本だけでは理解できない内容を知ることができました。鹿毛先生が執筆した麻田剛立についての本の中に、「子ども向けの本があることを初めて知った」という参加者の方が、「読みやすい」と講演後に借りて帰られる姿が。麻田剛立の魅力を知るきっかけとなる有意義な時間となったのではないのでしょうか。

図書館の入り口にある「麻田剛立コーナー」には、鹿毛先生が書かれた多くの本を展示していますので、ぜひご覧ください。

#### 感想

みなさん、真剣な様子で聞いています。



参加者の方の感想をご紹介します。



麻田剛立の観測の様子を見学した人の手紙を読んで下さり、当時の様子が生き生きと蘇るようで、興味深く聞くことができました。

先生の剛立への熱い思いが言葉の端々から感じられました。ぜひ鹿毛先生のおっしゃった宇宙・科学・天文館がいつか、できるといいなと思いました。

麻田剛立の魅力を深く理解できました。幼少期からの探求心は着実に一步一步積み上げた賜物だと感心させられました。

先生が「麻田剛立」の第一人者であることがよく分かりました。これからも杵築市民として、もっと知りたいと感じました。

※多くの皆様から講演の感想をいただきましたが、全部掲載できなかつたことをご了承ください。

## 《知識の広場 知恵の泉》 1月テーマ「蔦屋重三郎とその時代」

2025年大河ドラマの主人公は「蔦屋重三郎」

江戸時代中期に版元として、出版業界を盛り上げた敏腕家。

重三郎と交流のあった数々のスターの中には、黄表紙や洒落本の第一人者である“山東京伝”や“喜多川歌麿”がいます。また、「富嶽三十六景」で知られる“葛飾北斎”が出版した狂歌絵本には、重三郎が開店した書店“耕書堂”を描いた1枚が収められています。多くの人々に信頼され、出版業界の土台を築いたパワーあふれる「蔦屋重三郎」のこともっと知りたい！

知識の広場に「蔦屋重三郎」や江戸時代についての本を集めました。

ここでは展示本の一部をご紹介します。

『蔦屋重三郎 江戸を編集した男』田中優子//著 文藝春秋

『蔦屋重三郎 時代を変えた江戸の本屋』鈴木俊幸//著 平凡社

### 図書館インフォメーション (to be continued...)

図書館からみなさまへメッセージをお届け！  
今日は

《保存期間の過ぎた雑誌をさしあげます》

日時:2月5日(水) 10時~※なくなり次第終了

場所:杵築市立図書館 知識の広場

山香図書室同時開催 時間は9時~

◇入場は高校生以上◇ひとり5冊まで

◇時間制限や整理券の配布を設ける場合があります。